



## もの忘れ外来開設記念講演会を開催しました

当センターでは、平成29年11月より「もの忘れ外来」を開設しました。

開設を記念し、平成29年12月7日(木)、横浜市立大学保健管理センター長の小田原俊成先生を講師に招き、認知症医療のありかたについての講演会を開催しました。

小田原先生には、認知症早期発見の重要性、認知症高齢者への正しい対応、認知症予防の可能性、今後の認知症治療薬開発の展望などについてわかりやすく解説していただきました。



横浜市立大学  
保健管理センター長  
小田原俊成先生

神奈川県立精神医療センター  
もの忘れ外来パンフレット  
※詳細はホームページを  
ご覧ください。



### Contents

- もの忘れ外来開設記念講演会を開催しました
- 心理科のご紹介
- デイ・ケアメンバーの作品集
- 平成29年度病院見学会を実施して
- ボランティア活動のご紹介
- 認知症シンポジウム開催について
- 編集後記、他

## 心理科のご紹介

当センターの心理科には、臨床心理士資格をもつ9名（常勤7名、非常勤2名）の職員が在籍しております。入院及び外来患者様への心理検査等を通じた診療のサポートや、各種プログラム、面接の実施等をしてしております。各病棟に担当の心理士を配置し、疾病や患者様の特性に合わせた、専門性の高い支援が提供できるよう心がけております。昨年11月に開設したもの忘れ外来では認知機能検査等を行っております。

今秋には国家資格である公認心理師の試験がスタートするなど心理士を取り巻く環境も変化の時期を迎えておりますが、引き続き多職種チームの一員として、“こころ”の視点から患者様の回復と社会復帰に貢献できるよう努力してまいります。



## デイケアメンバー作品集



12色鉛筆で描きました



本を見て描きました



抽象画の絵を真似して描きました





## ●平成29年病院見学会を実施して●

精神科患者さんの生活は、地域を含め様々な方のサポートや「つながり」が重要です。また、症状の回復においても病院の治療だけでなく、地域・関係機関の支援が必要であると考えております。

当センターの役割・機能を理解していただくため、毎年行っている専門病棟に加え、救急病棟、一般病棟を含めた見学内容を検討しました。そして、「地域とつながる、地域につながる」をキャッチフレーズに『関係機関向け病院見学会』と銘打ち、見学会を8回開催しました。

参加者の方からは「開放的な病棟で今までのイメージと違った」「地域移行など連携の大切さを感じた」などのご感想をいただきました。センターの理解につながり、皆様と「顔の見える」関係を築くことができました。

今後も開かれた病院運営を目指し、次年度も同様の機会を検討しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## ボランティア活動の紹介 「草刈り会」



草刈り会は、当センタースタッフ、退職した元職員など7～8人のメンバーで、雑草除去、木々の剪定などを行っています。

活動場所であります「70周年の森」は、当センター内にあり、四季折々の草花を楽しむことができます。また、カブトムシが生息しており、地域の子供たちの夏の楽しみになっているようです。

活動は、年4回。3・6・9・12月 第1土曜日。(雨天は延期)

地域の方などセンター職員以外の方のボランティアを募集しております。

ご興味のある方は下記へお問い合わせください。お待ちしております。



### <お問い合わせ>

神奈川県立精神医療センター 中居  
TEL : 045-822-0241

## <認知症シンポジウム開催について>

当センターでは県民の方に向けて、認知症に係るシンポジウムの開催を予定しております。

開催日：平成30年4月14日(土) 13:30~16:30 (12:50開場)

場 所：TKPガーデンシティ横浜 6階ホール6A (横浜駅から徒歩5分)

※講演開始までの30分間、日常のお困りごと等の相談ブースを設置しておりますので、気軽にお越しください。

### 1 講演

#### 「認知症は神様からのプレゼント」

横浜相原病院長 吉田 勝明 氏

#### 「どこまで進んだ？ “認知症の根本治療薬開発”」

横浜市立脳卒中・脊椎神経センター臨床研究部長 秋山 治彦 氏

### 2 パネルディスカッション

#### 「認知症に対する医療と行政」

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

## <もの忘れ外来でMRI検査を始めます>

平成30年3月に導入するMRIを同年4月より稼働します。

### <編集後記>

#### 「病院前までのバスがあれば…」

当センターへの交通手段は、最寄り駅からバスを利用して来院される方がほとんどです。

しかしセンターまでのバスがなく、長い坂を歩かなければなりません。

1月22日の大雪の翌日には、皆さんたいへんな思いをされて通院していました。

「今日は、病院に来るまでたいへんだったよ！」と話している患者さんの苦勞を聞くとバスが病院前まで走っていれば……と、思わずにはられませんでした。

地域医療連携室 中居



センターニュースのご意見・ご要望  
などございましたら地域医療連携室  
までお寄せください。